

# 令和5年度 第1回学校評価アンケート

- 1 調査実施期間 令和5年9月25日～10月2日
- 2 回答者数 児童 49名 保護者 25名 教職員 12名
- 3 回答形式（マークシートで以下の4項目から選択回答）及び結果の表示  
4点法の平均評定値  
(4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない)
- 4 質問事項の表記が、児童・保護者・教職員では異なっているため、ここでは児童用のアンケート項目を示す。

調査項目（児童のアンケート項目）	児童	保護者	教職員
①元気に 進んで あいさつをしている。	3.5	3.3	3.7
②友達のいやがることをせずになかよくすごしている。	3.8	3.6	3.7
③「ありがとう」や相手が嬉しくなる「あったか言葉」を使っている。	3.7	3.4	3.7
④授業がよく分かる。	3.6	3.0	3.0
⑤学習用端末（クロムブック）を使っている。	3.7	2.6	2.8
⑥授業中、友達や先生の話をよく聞いている。	3.8	2.8	3.1
⑦家庭学習に取り組んでいる。(学年×10+10分)	3.5	2.9	2.9
⑧授業中、自分の考えをいろいろな人に伝えることができる。	3.2	2.9	2.9
⑨授業が楽しいと感じる。	3.3	3.2	3.2
⑩規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯）をしている。	3.4	3.0	3.0
⑪外で週2回以上遊んでいる。	3.3	2.8	2.5
⑫自分のよいところを知っている。	3.2	2.7	3.3
⑬学校では、自分が活躍できる場面がある。	3.2	3.1	3.3
⑭先生は困っていることに相談にのったり対応したりしてくれる。	3.7	3.3	3.7
⑮便りや連絡帳、ホームページなどで学校の様子や連絡を伝えている。	/	3.4	3.4

## 【アンケート結果から】

- ②「友達のいやがることをせずになかよくすごしている。」の項目が児童・保護者・教職員共に数値が高い。このことから、児童が友達と良好な関係を築けていることがうかがえます。
  
- ③「「ありがとう」や相手が嬉しくなる「あったか言葉」を使っている。」の項目も児童・保護者・教職員共に数値が高い。これからも、各学級で行っているほめ言葉のシャワーを意識して各自が積極的に使えるよう、道徳教育を充実していきます。
  
- ⑭「先生は困っていることに相談にのったり対応したりしてくれる。」の項目も児童・保護者・教職員共に数値が高い。今後も、定期的、または必要に応じてアンケートや教育相談を実施していきます。些細なことでも気になることがありましたら、学校までご連絡ください。
  
- △ ⑤「学習用端末（クロムブック）を使っている。」が児童の意識に比べて、保護者・教職員の数値が低い。1・2年生は持ち帰りをしていないので、状況がつかみにくいと考えられます。また、3年生以上は、家庭での使用時間が少ないことが考えられます。漢字・計算ドリルと同様に、eライブラリのお子様の状況を確認していただきますと、お子様の様子が分かると思います。また、学習の振り返りをノートだけでなく、クロムブックを使って記録する学年が増えてきました。お子様が何を学習したのかを見ることができしますので、読んでいただければと思います。
  
- △ ⑧「授業中、自分の考えをいろいろな人に伝えることができる。」の項目が児童・保護者・教職員共に数値が低い。しかし、1年前の数値と比べると、0.2ポイント高くなりました。児童が苦手意識をもたないように、生活の中で考えや思いを安心して伝えられる環境をつくっていきます。また、SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を学級活動や道徳の時間に取り入れていきます。
  
- △ ⑪「外で週2回以上遊んでいる。」の項目が児童・保護者・教職員共に数値が低い。今年は、暑い日が続き、外に出られない日も多くその影響が考えられます。現在、外で遊ぶには最適の気候なので、声かけをしていきたいと思います。
  
- △ ⑫「自分のよいところを知っている。」の項目が児童・保護者の数値が低い。これだけを見てしまうと、自分の長所を自覚していない、自己肯定感が低い傾向があるとマイナスの分析になってしまいますが、昨年度と比べると0.1ポイント上がっています。少しずつ児童の自己肯定感が高まってきているとプラスに捉えて、これからも行事等の一人一役や他の子と比べるのではなくその子のよさを認め、励まし伝えていきたいと思います。児童には学校のことをお家で伝えるようにお話ししますので、お忙しいと思いますがよく聞いてあげて、結果ではなくその子の頑張りを褒めていただければと思います。